

【アンドロイド版】Jamf Parent（保護者による iPad 管理・見守りアプリ）の 使い方について

夏休みの iPad 持ち帰りについて、保護者の皆様へのお願いとなります。

夏休み中の計画的なデジタル学習は、子どもたちの学びを深める大きな支えになります。ただ夜間の使いすぎを防ぐなど、安心な環境を整えるにはご家庭の協力が不可欠です。ぜひ見守りアプリ「Jamf Parent」をご活用いただき、学校と連携して子どもたちをより良い使い方へと導いていきたいと、「Jamf Parent」の導入方法について以下にてお伝えします。

操作については「保護者のスマホ端末（保）」と「お子さまの iPad（子）」を使用します。

※今回は「夜 8 時（20 時）から翌朝 8 時まで機能を制限する方法」をご紹介します。

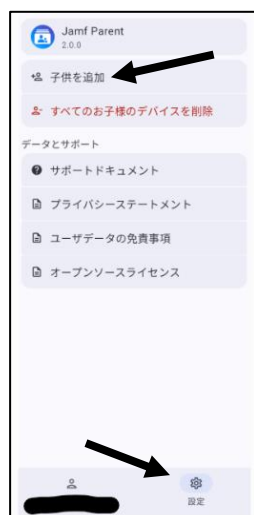
- ①（保）「Play ストア」より「Jamf Parent」のアプリをインストールします。

※画像はインストール後なので「開く」ボタンになっています。



- ②（保）アプリを開き、「設定」から「子供を追加」をタップ

※アプリの初回起動時には③の画面が最初に提示されることもあります。



- ③（保）「QR コードをスキャン」をタップして、iPad 側の操作に移る。



- ④ (子) iPad のアプリの中から
「Self Service」をタップする。

このアイコンです→



※この画面上になれば、右側にスクロールした
先などにあります。

- ⑤ (子) 「Self Service」の右上にある QR コード
のアイコンをタップする。

このアイコンです→



- ⑥ (保) (子) iPad に表示された QR コードを、
③の操作で読み取る。



※画像は QR コードが読み取れないように加工
しています。

- ⑦ (保) 「Jamf Parent」内で iPad と連携がされた
か確認する。



※連携に成功すると
以下のような画面に
なり、黒塗りの箇所に
デバイスの ID が
表示されます。

- ⑧ (保) 上記の「デバイスルール」をタップし、
「日時」をタップする。

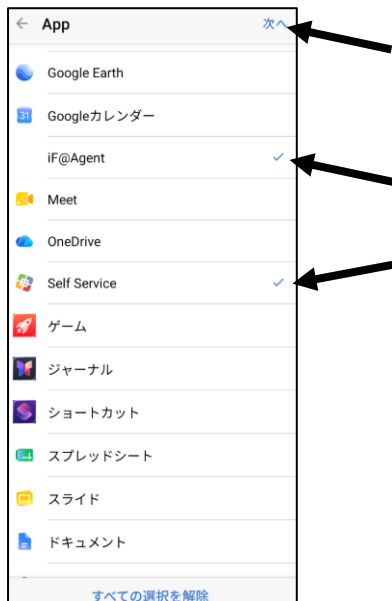


- ⑨ (保) 「カスタム」を選択して「次へ」をタッ
プ。



- ⑩ (保) 制限中に使用できるアプリを選択して、「次へ」をタップ(なにも選択しないと「次へ」がタップできません)。

※マニュアルによると、セキュリティや管理に影響するため、アプリ一覧にある「iF@Agent」と「Self Service」はチェックを入れるべきとのことなので下記ではその2つにチェックを入れています。



- ⑪ (保) 特定のウェブサイトだけ見せたい場合には、「許可するウェブサイトを追加する」をタップします。ただ睡眠時間の確保のためなので、なにも選択せずに「次へ」でも大丈夫です。



- ⑫ (保) 制限をかける曜日と時間を選択します。
※下記では、夜間の使い過ぎを防ぐため、毎日「夜8時(20時)～翌朝8時」を制限時間としています。



- ⑬ (保) ルールに名前を付け、保存します。複数のルールをかける場合には、何のルールかわかる名前にするとよいと思います。

例) 平日ルール、休日ルールなど



⑭（子）上記のルールが保存されると、iPad のデスクトップが右のようになります。

※下記では「時計」も使用可能なアプリとして選択したのでアイコンが右下に小さく表示されています。④の画面と比べると変化が一目瞭然です。



【重要】 ルールの設定ができる時間帯について

今回は夏休みの持ち帰りを想定しているため、期間中はいつでも(何時でも)設定可能です。

ただし、通常の学校登校日には「学校管理時間」があるため、以下の制限があります。ご注意ください。

○設定できない時間(エラーになります): 平日の午前 8 時 ~ 午後 4 時

○設定できる時間: 平日の午後 4 時 ~ 翌朝 8 時、および土日・祝日